

# 校長だより

福津市立福間東中学校

校長 猪股 清貴

平成 28 年 3 月 17 日 No52

## さりげない優しさ・誠実な取組の積み重ね



左の写真は 2 年生のあるクラスの早朝の風景です。結露で曇った窓を一人黙々ときれいにしてきています。また、あるクラスでは黒板を拭きあげた後、チョークの粉がたまった溝をきれいに行っている人たちがいます。心温まる朝の風景は、これまで何度か紹介してきましたが、これから東中を引っ張っていく 2 年生のクラスでこの風景が見られることに、次年度への期待が膨らんでいきます。

下の写真は、3 年生が卒業した後の掃除区域を担

当し、一生懸命に床を拭きあげている 2 年生の姿です。時間いっぱい使い、廊下のすみずみまで丁寧に拭きあげます。応接室の担当は、一人で椅子をかき分け、テーブルの下にもぐりこんできれいに拭きあげてくれます。卒業式で会長が卒業生に対して「東中は私たちに任せてください」と言ったことは、このようなさりげない優しさと誠実な取組の積み重ねの中で確かなものになっていきます。皆さんの力で会長の言葉を確かなものにしていかねばならないのです。



## そんな積み重ねを踏みにじる行為だ！



「スイッチの押し込み」今年に入ってもう数回目です。もう「わざとではありません」などと言う言い訳は通用しません。これが起こるたびに、各クラスではアンケートがとられました。こんな悲しい、そして、情けないアンケートはありません。以下アンケートの中の叫びです。「やっている人は何のためにしているのか？もし楽しんでやっているのなら異常ではないか。人に迷惑がかかっていることを自覚して早く名乗り出てほしい」「こんなことをやる人はひきょうな人だと思います。これによって 2 年生全体にどれだけの迷惑がかかっているのか考えているのでしょうか」「こんなことをする人は本当にかわいそうな人

だと思います。早い解決を望みます。」

ほとんどの人たちが 3 年生の卒業後、新たな学校作りに夢を持って取り組んでいます。特に 2 年生は最上学年としての責任の重さを感じながら 3 年生の準備をしているところです。そんな大事な時に繰り返される卑劣な行為。この集団の中に、そんな人間がいるかもしれないという疑いを持たねばならないことそのものが情けなく、悲しいことです。